



地域医療 連携室だより

春号

令和6年5月発行

VOL. 8

新年度のご挨拶

副院長（地域医療連携室長）

石井 勉



この冬は暖冬といわれながらも3月には雪と寒気に多くみまわれましたが、やっと今年も桜と新緑を迎える穏やかな季節になりました。新型コロナウイルス感染症が5類相当になったことやインフルエンザとの同時流行、他の感染症の流行と重層的に感染流行がみられるようになったことから、慢性期病棟での日常生活と感染症対策の間で新たなバランスのとれた予防対策を熟慮し実施してきております。

当院の重点診療機能であります脳神経内科による神経難病診療、小児科の重症心身障害児（者）診療の患者様方々のために、感染対策を講じながら開かれた診療を全職員一丸となって進めてゆきます。そして外来入院診療のみならず、患者様ご家族の負担軽減のための当院独自のレスパイト入院にも十分対応してゆく所存です。従来からの検査受託についても、通常の対応ができるよう余裕をもった体制を整えております。

本年も、納得の医療で当地区での地域医療に貢献できますよう職員一丸となって努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



●地域医療連携室のご紹介

さるのこしかけを見つけた！
良いことありそう♪



新しいメンバーを迎え、今年度もより一層、地域との繋がりを大切に活動してまいります。よろしくお願いいたします。

組織

地域医療連携室長（副院長）	石井 勉
経営企画室長	渡邊 貴将
地域医療連携係長（看護師長）	降矢 美恵
副看護師長	穴沢 和子
医療相談係（専門職）	栗石 哲也
医療社会事業専門員(MSW)	小林 律子
医療社会事業専門員(MSW)	和知 一将

医療社会事業専門員等研修に参加して



2月1日～2日までの2日間、仙台医療センターで医療社会事業専門員等研修に参加しました。医療社会事業専門員（MSW）とは、主に転院紹介、外来紹介、入院や通院に伴って起こる経済的、社会的な問題の対応などをする福祉の専門職です。

今回の研修では、他職種とのコミュニケーション能力の向上を学びました。中でも面談技術として、ケアリング・コミュニケーションを講義と実践で学び深めることができました。ケアリング・コミュニケーションとは、相談者との信頼関係、コミュニケーションを円滑にするための機能と技術を指します。実践形式で他施設のMSWと面談者、相談者に分かれて面談のロールプレイを行いました。会話内容を録音して文字に起こし羅列することで面談を客観的に分析、改善点について協議しました。具体的には傾き、復唱、相槌など基本的な傾聴スキルやその人にあった説明方法、伝え方、言葉などを学ぶことができ、日頃の面談を初心に帰り、振り返るとてもよい機会になりました。



研修で培ったケアリング・コミュニケーションの技術を活用し、患者様やご家族のために、地域や医療機関との架け橋となれるように精進していきます。

●医療社会事業専門員（MSW） 和知 一 将

成年後見制度ってなに？

成年後見制度をご存じでしょうか？

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方々は、預貯金や不動産などの財産管理、施設入所などの契約、遺産分割の協議などをご自身で行うことが難しい場合があります。不利益な契約であっても判断が難しく契約を結んでしまい、悪徳商法などの被害を受ける恐れもあります。このような方々の権利を法的に守り、住み慣れた地域で安心して生活できるように支援するための制度です。

成年後見人等は、必要な支援内容などに応じて、ご本人にとって最もふさわしい方を家庭裁判所が選任します。成年後見人等のご本人に代わり何でも行えるわけではありません。支援できること、支援できないことがあります。



成年後見制度については、市町村に設置されている地域包括支援センターや社会福祉協議会、専門職団体（弁護士会・司法書士会・社会福祉士会など）等へご相談ください。

●医療社会事業専門員（MSW） 小林 律子

レスパイト入院のご案内

レスパイトとは「休息」「息抜き」などの意味があります。

医療管理が必要な患者さんの在宅介護されているご家族を支援するために脳神経内科、小児科のレスパイト入院の受け入れを行っております。

- 冠婚葬祭があり介護が一時的に難しい。
- 介護で身体が疲れた。少し休みたい。
- 自身（介護者）が病気になって、治療のため介護が難しい。
- 出産を控えている。 など



レスパイト入院中
リハビリも行えます



写真は患者様とご家族の方に許可をいただいております。

ご家庭の事情で一時的に介護ができなくなった場合、短期間ご利用いただけるのがレスパイト入院です。通常は1～2週間程度ですが、ご家庭のご都合により入院期間についてはご相談ください。在宅療養を長く続けるためにもレスパイト入院も一つの選択肢としてかかりつけ医の先生にご相談ください。

病院運営の都合により、日程の調整をさせていただく場合がございます。ご容態によっては受け入れが難しい場合もございますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

●地域医療連携室係長 降矢 美恵

●レスパイト入院に関するお問い合わせ

TEL.0248-75-2279 FAX.0248-75-2569 国立病院機構福島病院 地域医療連携室

病棟から

看護の関りで大切にしていること ～レスパイト入院を通して～



当病棟では、在宅介護されているご家族を支援するためにレスパイト入院を受け入れています。レスパイト入院とは、病気による入院だけではなく家庭の事情により在宅生活を離れ短期間、病院で過ごして頂くものです。普段の家庭生活から離れることへの不安を少しでも軽減できるよう外来や地域医療連携室と連携を行いチーム間で情報共有をしています。また利用者さんが安心して過ごせるように丁寧なケアを心がけています。言葉かけやスキンシップに対して、利用者さんのサインを読み取ることで、緊張した表情が柔らかくなり、笑顔を見せてくれるようになると嬉しくなります。

ご家族に「またみてほしい」「安心して預けられる」とレスパイト入院をご利用いただけるよう、コミュニケーションを大切にしながら信頼関係を築いていきたいと思っております。これからも利用者さんが安心して、楽しく、元気に過ごすことができ、また自宅で過ごせるように病棟看護師として丁寧なケアを提供していきたいと思っております。

●5病棟副看護師長 大野 麻衣子

●外来・地域医療連携室の声

レスパイト入院中のリハビリや感覚刺激が成長発達を促し、退院後、在宅から地域の保育園通園に繋げることができたケースがありました。レスパイト入院中のスキンシップや快刺激など、乳幼児の発達過程に応じたケアを外来でも継続し、他職種で紡いでいくことの大切さを改めて感じました

外来担当医表

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和6年5月1日現在】

区 分	月	火	水	木	金
内 科 1	安 田 千 尋	安 田 千 尋	安 田 千 尋		
内 科 2	佐 藤 由 紀 夫 (第1・3)				
内 視 鏡 検 査				安 田 千 尋	
脳 神 経 内 科	伊 藤 英 一	杉 浦 嘉 泰	伊 藤 英 一		杉 浦 嘉 泰
小 児 科	福 島 医 大	石 井 勉 郎 氏 家 二 (第2・4)	石 井 勉		河 原 田 勉
専 門 外 来 (発達小児クリニック)		石 井 勉 郎 氏 家 二 (第2・4)			河 原 田 勉
専 門 外 来 (小児神経外来)			石 井 希 代 子		
専 門 外 来 (小児循環器外来)			桃 井 伸 緒 (第2)		
小 児 専 門 外 来	予 防 接 種 (午後)				
整 形 外 科	古 川 浩 三 郎		古 川 浩 三 郎		古 川 浩 三 郎
小 児 外 科				清 水 裕 史	
脳 神 経 外 科		福 島 医 大 (第2)			

- 完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。
- 受付時間は午前8:30～11:00までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- 外来担当医表は令和6年5月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

独立行政法人国立病院機構

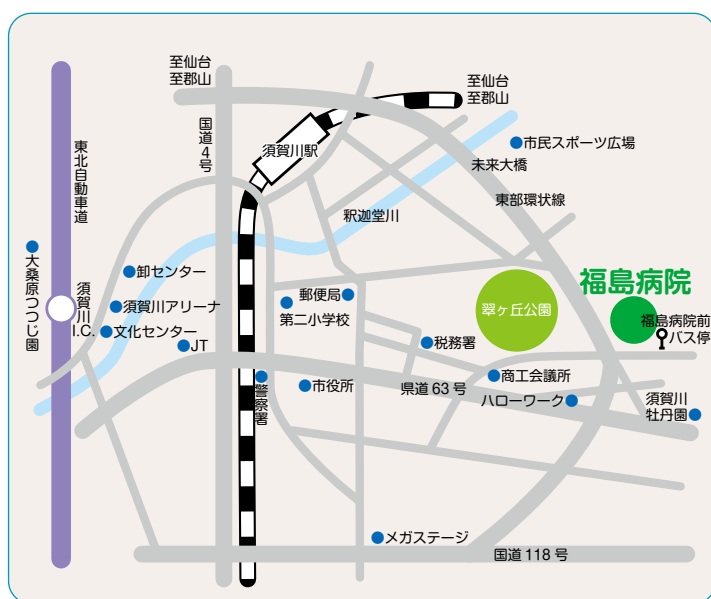
福島病院地域医療連携室

●新規契約、ご相談、ご予約、お問い合わせについては

地域医療連携室直通

TEL 0248-75-2279 FAX 0248-75-2569

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地 TEL 0248-75-2131 (代表)



<https://fukushima.hosp.go.jp/>